

二十歳の誓い

振り返れば、たくさんの思い出がよみがえります。小学生の頃、クラス全員が拳手に全身全霊をかけ、初めて一致団結したあの瞬間。中学生の頃、修学旅行で、山盛りのカツカレーを皆で必死に食べたこと。修学旅行先で、集合時間に間に合わないチームがいた時に「汗をかきながらダッショւしてきたから良い」と大目に見てくれたり、デザートを用意してくれた優しい大好きな先生方にはとても感謝しています。

ここまで成長できたのは、仲間たちや家族との大切な時間、地域の方々の暖かいサポート、時には優しく甘えさせてくれ、時には厳しく叱つてくださった先生方の支えがあったからこそです。

私はこれから、中学生の時からの夢だったウエディングプランナーとして歩み始めます。幸せな時間を一緒に共有できる幸せ。結婚式という一大行事で出会った方々の幸せや笑顔を創るお手伝いができる幸せ。そんなたくさんの方々の幸せを胸に、全ての人の笑顔のため努力してまいります。



かなざわ ゆうな
金澤 優奈さん
(高田東中学校)

現在、私は警察官として地域の安全と安心を守る職務に就いています。警察学校の訓練では、心身とともに追い込まれ、これまでどれだけ甘い環境にいたのかを実感しました。教官方は、厳しくも愛のあるご指導をいただき、警察官としての基礎を学び、訓練を通じて人間的な成長を実感できました。

現場は、想定外の連続で、自分の対応で事態が大きく変わることもあります。そのため、日々緊張感を持ち、慎重な対応を心掛けています。そんななか、住民の方から感謝の言葉をいただくと、次も頑張ろうという力になります。

来週には、正式に警察官として命ぜられる「一人前式」という大きな節目が控えています。社会人として未熟な点もありますが、感謝の心を忘れず社会の一員として責任を自覚し、不偏不党かつ公平中立を旨として、地域住民に寄り添い信頼していただけた警察官になれるよう、信念を持って精進していくことを誓います。



くらおかかいと
倉岡 海斗さん
(高田東中学校)



令和8年
陸前高田市
二十歳のつどい

二十歳の皆さん
おめでとうございます

1月11日(日)、令和8年陸前高田市二十歳のつどいが奇跡の一本松ホールで開催されました。本年の対象者は平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた145人。当日は振り袖や羽織はかり、スーツなどに身を包んだ125人(男性62人、女性63人)が出席し、人生の節目、晴れの門出を喜び合いました。

式典では、佐々木市長が「震災の復興の歩みと共に成長し、節目を迎える御支援を頂きながら復興を進めてきたが、今後は支援に頼らなくとも生き生きと暮らせて、ふるさとで活躍できるようまちをつくる」と式辞を述べました。

式典に続き、二十歳のつどい実行委員会(上田飛陽委員長)が中心となり記念行事が開催されました。行事では、恩師のビデオメッセージが上映された後に、サプライズで6人の恩師がステージに登壇。教え子たちへお祝いの言葉が贈られると、会場は出席者の喜びの声に包まれました。

また、県建設業協会大船渡支部青年部会から、出席者へのタイムカプセルの返却も実施。これは、小学6年時に制作したタイムカプセルを同部会が預かり、二十歳のつどいに併せて返却しているもので、出席した皆さんは当時の思い出を懐かしみながら、これからの決意を胸に、新たな一步を踏み出しました。

